

眼科に通院中または通院歴のある患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、診療情報を使って行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省・経済産業省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。なお、この臨床研究は倫理審査委員会の審査を受け、研究方法の科学性、倫理性や患者さんの人権が守られていることが確認され、研究機関の長の許可を受けています。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

《研究課題名》裂孔原性網膜剥離及び黄斑上膜における白内障手術併用硝子体手術での屈折誤差の検討

《研究機関名・研究責任者》関西医科大学附属病院 眼科・視能訓練士 仲村 永江

《研究の目的》黄斑部が剥離していない裂孔原性網膜剥離の方や黄斑上膜の方、白内障の方の3グループを対象として、手術前の目標屈折度数と手術後の屈折度数の差を評価する。

《研究期間》研究機関の長の承認日～2025年3月末日

《研究の方法》

●対象となる患者さん

2021年4月1日～2023年6月末日の間に、黄斑部未剥離の裂孔原性網膜剥離または黄斑上膜、白内障と診断され、白内障手術や白内障手術と硝子体手術を受けられた方

●研究に用いる情報の種類

情報：診断名、年齢、性別、検査結果（視力屈折検査結果、前房深度、眼軸長、使用された人工的眼内レンズの種類、手術前目標屈折度数）

《この研究に関する情報の提供について》

この研究に関して、研究計画書や研究に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

《この研究での診療情報等の取扱い》

お預かりした診療情報等には仮名加工情報処理を行い、患者さんの氏名や住所などが特定できないように安全管理措置を講じたうえで取扱っています。

《本研究の資金源・利益相反について》

この研究は外部の企業等からの資金の提供は受けておらず、研究者が企業等から独立して計画して実施しているものです。したがって、研究結果および解析等に影響を及ぼすことは無く、患者さんの不利益につながることはありません。また、この研究の研究責任者および研究者は「関西医科大学利益相反マネジメントに関する規程」に従って、利益相反マネジメント委員会に必要事項を申請し、その審査と承認を得ています。

*上記の研究に利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

《問い合わせ先》

関西医科大学附属病院 眼科 視能訓練士 仲村 永江

大阪府枚方市新町 2-3-1

電話 072-804-0101（代表） FAX 072-084-2889